

## 当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210192
研究課題名	経カテーテル大動脈弁置換術(Valve in Valve)時代における生体弁大動脈弁基部置換術(Bentall)の成績
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 心臓血管外科 岡英俊
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2022年9月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	大動脈弁基部置換術の成績の解明と人工弁不全に対してカテーテル治療が可能か検討する。
研究の方法	本研究は、生体弁大動脈弁基部置換術における術前因子、手術方法、手術成績、短期・中期成績を既存情報より後ろ向きに検討する。 術後の心臓CTを画像解析し経カテーテル大動脈弁置換術が施行できるか検討する。
対象者	西暦2015年10月1日～2021年12月31日の間に、当院で生体弁を使用した大動脈弁基部置換術を施行した方
利用する試料/情報	研究対象者背景：識別コード、手術日、年齢、性別、BMI、BSA（体表面積）、既往歴、喫煙歴、心臓カテーテル治療歴、大動脈疾患（真性瘤、解離性大動脈瘤）、開心術既往、人工弁周囲膿瘍 血液生化学：N末端プロB型ナトリウム利尿ペプチド 経胸壁心エコー：心収縮能、大動脈弁輪径、バルサルバ洞径、大動脈弁逆流と僧帽弁逆流症の重症度 手術成績：術式、冠動脈再建方法、複合手術の有無、循環停止の有無、人工心肺時間、大動脈遮断時間、人工血管サイズ、人工弁サイズ、人工弁種類、緊急手術の有無、左右冠動脈の高さ 術後成績：院内死亡の有無、人工心肺補助装置の有無、挿管時間、ICU滞在日数、術後脳梗塞の有無、新規透析導入の有無、在院日数、再手術の有無、人工弁周囲膿瘍の有無
研究組織	当院単独研究 済生会横浜市東部病院 心臓血管外科 岡英俊（研究代表者）
試料/情報の院外提供	該当なし
研究資金源	研究者の私費にて実施
結果公表	European journal of cardiothoracic surgery雑誌へ投稿予定
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話 045-576-3000 済生会横浜市東部病院 心臓血管外科 岡英俊